

支那紛糾・佐々木正義！ 11.13 全学スト → 北大阪実力斗争へ

田中大の夢友道君。われらの先輩が10年前自己の田
存在を賄してそのぬいた10年安保とは一體何であつた
の又 10年を目前にした現在 極美智子のバトスは苗
ひよみがえり来つた。10年とは比べようもない位 不
気味に巨変化した日本民主の反毒師の風の中です。
11月末の時は未だ、10年の終焉をいまえ 教育リ学
園争の見揚を中央权力にぶつけ 大學の帝曰主的
再編をその根柢から粉砕せねばならぬ。日本帝曰主
義は、昔の米帝の庇護のもとありひとり立ちし明
確に角や、世界の帝曰主義曰、およびソ連等々によ
けるスターリニスト官僚と共に 世界の帝曰主義的軍
事割にのりだしつつある。日帝、米帝の野同によると
ころの沖縄返還は、民族的悲願に名をみりた。日帝
の東南アジア侵略への自主性と極東防衛(たとえば中
共封じこめ)の自主性を保証するものに他ならぬ。

日米安保保蔵条約こそ、まさにそついた日帝、帝
の軍事的、經濟的帝曰主的侵略のへんの縁であり
それ故にこそ、安保条約は階級斗争として位置づけら
るものである。60年代階級斗争はわれわれに復讐の教
訓を与えた。三重原と、沖縄で、そして本多の度で
われわれは、社会を中心とする一切の日民主的、小マ
ル的ボンダム民主主義が革新的農民、労働者、学生の
チによってこれまでにもその反人民的、反平和的性標を
さらす出したのを察に見てきていた。それで、われわれ
はマルショウ民主主義を共同思想にもはやたまされ
はない。おのれが立つている前面は、一体像であります
しむのを、帝曰主義者どもとの立派共夢はありえ
ない。必ずからうの階級的利害なし烈々実力斗争を至す
にむかして奮闘できよう。

ドル、ボン对中国は帝曰主の赤旗を顯示している。
そして、それ故にこそ、日帝、帝曰は畢竟に全世界の
帝曰主義用魔といいでいる人民に対し、アメ
と暴力をたゞくに用ひなき。そしてまた、労働力第
生産場としてのよりの用魔をこの例外ではないのであ
る。

化4ストラ伎実行委員会・宝化連

11月末からも烈々。それゆえに想みしい10年代階級
斗争ははじまる。われわれはその「史的社會主義にい
だき」帝曰主義者への暴虐のことを追跡を開始せぬ
ばならぬ